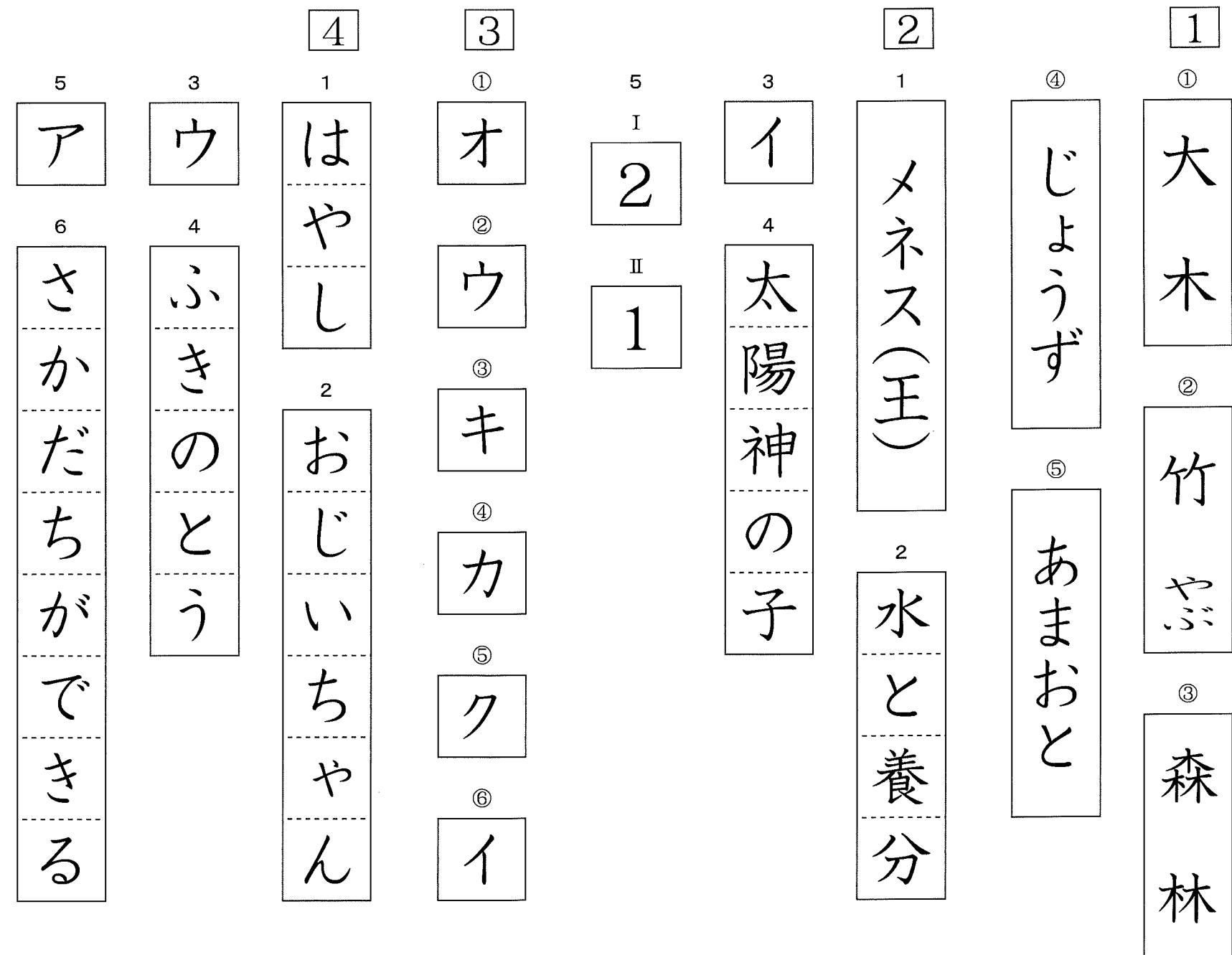


## 希学園 第403回 小2公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第403回公開テスト 小2国語 解説動画(2025年12月14日実施)	<a href="https://vimeo.com/1146147773/b17c2e4648">https://vimeo.com/1146147773/b17c2e4648</a>



配 点

① 各2点×5=10点

②~④ 各5点×18=90点

<計>100点

①「大」を「ダイ」でなく「タイ」、「木」を「モク」でなく「ボク」と読むことばである。もちろん大きな木のことである。

②「竹」は「チク」とも読む。三画めの最後はトメル、六画めの最後はハネル。③「森林」はとてもたくさんの木が生いしげつているところ。④「じょううず」の反対は下手。ほかにも「うわて・したて」「かみて・しもて」とも読むことばである。それぞれの意味を調べておこう。⑤「雨音」は雨の音だが「あめおと」とは読まない。

⑥「ないしょ」にしたいのは「さかだちができるように」「なつた」ことである。「きょう」は「四、五びょうはもつた」のだが、「五びょうぐらいへいきでたてるようになるまでは、おとうさんにもおにいちゃんにもだまつているつもり」なのである。

[2]

谷川彰英 監修 『国際理解』にやくだつ N H K

地球たべもの大百科⑩

エジプト豆料理

より (設問の都合上、表記の一部を変更しています)

1 本文には「最初の国王」と書いてあつたが同じことである。ときどきカタカナを書きまちがう受験生がいる。もつたないミスで失点しないようにしてほしい。

2 「はんらん」ではない。「豊か」は、たくさんあることをよい意味にとらえたことばなので洪水のことである「はんらん」にはふさわしくない。「夏」に「ナイル川」が「あふれる」＝「はんらん」するおかげで「農地」に「水と養分」が「たっぷり」とゆきわたり、「作物がたいへん育ちやすい」のであつた。「ほとり」は近く、すぐそばのこと。

3 「紀元前」は紀元元年＝西暦一年からどれほど昔なのかということである。今が西暦二〇〇〇年を過ぎたところなので、三〇〇〇年と二〇〇〇年を足せば正解となるのである。また、「古代エジプト王国の誕生」が「最初の文明が生まれた」ことで、それが「五〇〇〇年以上も前」だということ、そこから「四〇〇〇年ほどたつた」ら「紀元前二六〇〇年ころ」になることから考えれば、「紀元前」の考え方が理解できたのであつた。

4 「～と考えられていますか」という方がヒントになつていて、「ファラオの墓と考えられています」とあつた。ただし、「ファラオ」では指定の字数に合わない。その前の行に「ファラオ（王）は太陽神の子であるとされていました」とあるので、「ファラオ」＝「王」＝「太陽神の子」と「考えられて」いたことがわかる。

5 I 「ほかのどこよりも古くから」があやまりである。「世界でもつとも古くから文明が発達した場所の一つ」とあつた。「～の一つ」ということは「ほか」にも同じくらい「古くから」「発達した場所」があつたということなので、「ほかのどこよりも」「古い」とは言い切れないのである。

II 「クフ王のピラミッド」は「古代エジプト王国の誕生から四〇〇〇年ほどたつた」「時代に建てられた」とあつた。

③ 行事に関する食べものを答える問題である。ほかにもどんなものがあるか調べてみよう。

① 「一月一日」は元旦で「おぞうに」やおせち料理を食べて、おとそを飲む。  
 ② 「一月七日」は人日の節句で、春の七草を入れた「七草がゆ」を食べる。  
 ③ 「二月三日」は節分で、豆まきをして年齢の数（プラス一つ）だけ炒り豆を食べる。最近は恵方巻きなども食べる。  
 ④ 「三月三日」は桃の節句（ひなまつり）で、ちらし寿司・蛤のお吸い物・ひしもち・ひなあられを食べて白酒を飲む。  
 ⑤ 「五月五日」は端午の節句で、「かしわもち」やちまきを食べる。  
 ⑥ 「十二月三十一日」は大みそかで、「年越しそば」を食べる。寿司やすき焼きなどごちそうを食べることもある。  
 ※ 「チョコレート」は二月十四日のバレンタインに好きな人や友人知人に贈る。  
 「ぼたもち」は三月二十一日ごろの春分の日に食べることが多い。

④ もりやまみやこ『おはなしぱっちり』(4) 冬より

（設問の都合上、表記の一部を変更しています）  
 1 「きょうも」「はいり」「れんしゅうをはじめ」るところ（場所）である。「いえのうらのはやしのなかで、ずっとひとりで、れんしゅうをしてきた」とあつた。

2 「ふきのとう」のことを「しらせてあげ」る人のことである。

3 目を細めるは、うれしいことがあつたり愛らしいものを見たりして、目を細くしてうれしそうにすることである。

4 もちろん「タツヤ」が「みつけた」「ふきのとう」のことである。「ふきのとう」の色や形を知らなくては場面のようすを思いえがけば、すぐにわかつたはずである。

5 指示語が「さしていること」がいつも直前にあるとは限らない。今から言うことば「ないしょ」だと前置きしているのである。こういうことでも日本から本をたくさん読んでいれば、理解しやすいものである。

6 「ないしょ」にしたいのは「さかだちができるように」「なつた」ことである。「きょう」は「四、五びょうはもつた」のだが、「五びょうぐらいへいきでたてるようになるまでは、おとうさんにもおにいちゃんにもだまつているつもり」なのである。